



〈サロン・あべの〉8月の出会い

平成18年8月6日(日)午後3時、〈サロン・あべの〉8月の出会いは、工芸高校グラウンドで恒例の「あべのカーニバル・なんでも市どおり」での「さろん亭」の開店です。

阿倍野区民祭りの「あべのカーニバル」は、今年で第33回になります。気になったのはやはりお天気です。各地で長引く梅雨の影響が出ていましたが、「あべのカーニバル」前日・当日は晴れ、申し分のない良い天気になりました。

当日、午前11時30分頃より提供品の車への積み込みをはじめ、午後12時頃から、「さろん亭」の開店準備のため、「あべのカーニバル」の会場・市立工芸高校のグラウンドへ向かいました。グラウンド内の「なんでも市どおり」





# 品物の寄贈・準備・販売・・・たくさんの人に支えられて！

では多くの店が出店します。その一角に赤と白のラインのテナ

品定めに懸命です。そして午後3時カーニバルの

区内の中学、高校の吹奏楽部の演奏で、カーニバル会場や「さろ

トの「さろん亭」の中では皆さんから提供していただいた品物がところ狭しと並べられていきます。

開会。いよいよ「さろん亭」が開店しました。店頭ではお客さんとの値引き交渉など、にぎやかに、真剣に交わされます。中

も石鹸やタオルなどは、今年も人気商品でまとめ買いをされる方も多くおられます。

暑い中、多くの方がお立ち寄りくださり(写真③④)、テント内にあった沢山の品物も時間と共に、ほとんどが売れてゆきました。そして無事に閉店となりました。

日用品、雑貨類、食品、タオルや石鹸など種類別に分けながら「さろん亭」の開店準備をしている最中にも、お客さんは掘り出

ました。

ました。

ました。

(山村貴司)

「さろん亭」の販売用品の値段付け(前頁写真①②)は、毎年前日にしています。今年も8月5日(土)午後1時より、区在宅の1室をお借りして行いました。「さろん亭」のバザー販売品は、1年をかけて多くの方々からご寄贈いただいた品々と、値段付け当日に提供者の自宅を車で巡りいただいた品々、そして、値段付けのお手伝いをしてくださる方々が持参いただいたりした品々です。隣近所の方や、遠方からの宅配便など、サロン紙を読んでくださっている方々、その方々のお知り合いなど、本当に幅広い方々のご支援、ご協力で届けられたものです。それらを一つひとつ、紐解いて取り出すときは、何が出てくるかなど楽しみです。テーブルごと

### 「さろん亭」の値段付け

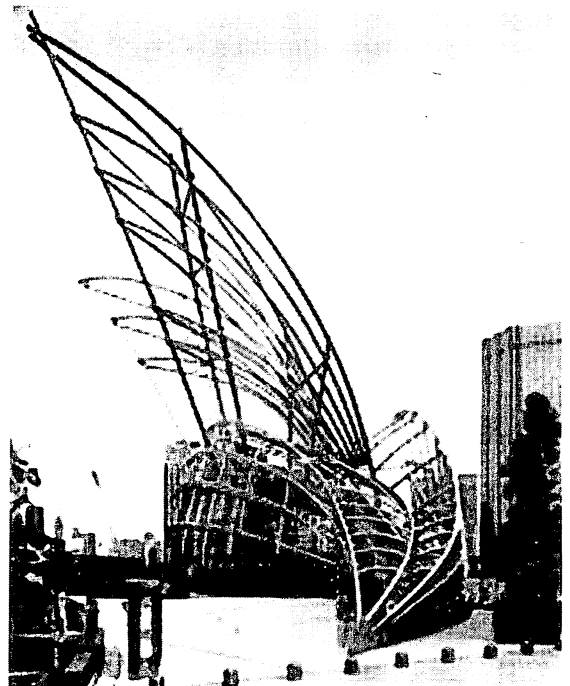
に石鹸・洗剤・タオル・ハンカチ・手作り品(手の込んだ可愛い品物もたくさんありました)・食器類・雑貨類・その他、に分けてそれぞれに値段を付けてゆきます。この時が一番頭を悩ませる時です。売れる値段を的確に言つてくださる方がおられると、作業はスムーズに進みます。値札シールに金額をスタンプで押す人、そのシールを品物に貼つてゆく人、値段の付いた品物を一箇所にまとめて荷造りをする人、あうんの呼吸で作業が流れてゆきます。今年もサロン適正価格で販売できますようにと願いながら、お手伝いの方々と楽しく値段付け作業をしました。お世話になりましたみなさま、ありがとうございます。

(富田慶子)

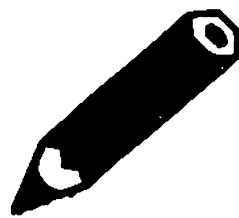
### お知らせ

#### <サロン・あべの>10月の出会い

日時…10月21日(土)午後1時～4時  
 内容…国立国際美術館(右写真)の見学  
 (バリアフリー、盲導犬もOK)  
 場所…大阪市北区中之島4-2-55  
 電話06-6447-4680  
 集合場所…国際美術館1階入口前 1時集合  
 交通機関…地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」3番出口徒歩10分、  
 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」西へ徒歩15分  
 会費…なし(諸経費は参加者の自己負担)  
 お願い:身体障害者手帳をお持ちの方は、ご持参ください。  
 申し込みと問い合わせ先…  
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



31



# 邦子、 ..ん歳の手習い。

## 障害者自立生活運動とADA(1)

アメリカで制定されたADA(＝障害をもつアメリカ人法)は、障害による差別を禁じた画期的な法律でした。1990年7月26日のADA署名式の大統領演説の中では、主な内容として次の4点があげられています。「第1に、ADAは雇用において有資格の障害者に対する差別禁止を保障します。第2に、ADAはレストラン、ホテル、ショッピングセンター、オフィスなどの公共的施設におけるアクセスを保障します。第3に、ADAは輸送機関におけるアクセスを保障しま

す。第4に、ADAは言語および聴覚障害者に対して、障害のない人と同等の電話サービスを保障します」そして、雇用されていない多くの障害者は働く意志があり、働く能力もあり、無尽蔵な人的資源であり、求められているのは、彼ら自身の能力を証明するチャンスを与えることであると、産業界の協力を呼びかけています(『ADAの衝撃』学苑社、1991年より)。すなわち、ADAは社会参加可能な障害者とその機会を与えないのは不正であり、違法な差別であるという機会均等の原則によって差別概念を構成しています。また、この法律の成否の鍵は産業界が握っているといえます。

アメリカにおける人権保障と差別禁止の法律としては「公民権法(1964年)がありましたが障害者は対象とはなっていないませんでした。また、障害者の差別禁止の法律としては「リハビリテーション法(1973年)の差別禁止条項がありました。政府及び政府の補助金を受けた機関による事業が対象にされ、雇用差別禁止の場合にも連邦政府と年間2500ドル以上の契約をした企業を対象が拡大するのみで適用範囲に制約がありまし

手紙には  
愛あふれたりその愛は  
消印の日のそのときの愛

—— 俵 万智  
(サラタ記念日)

サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴り一五〇円

た。しかし、ADAにおける差別撤廃をめざす人権要綱は公的領域だけではなく、私的領域にもおよび、企業や事業主を拘束する力をもっていました。そして、障害を理由とする差別や不当な扱いを受けた場合、本人が直接裁判所に訴えて法的救済を求められるように手続きを規定しています。ADAは当初からあいまいであるとか、コストがかかるとか、数限りない訴訟を生み出すなどの問題点も指摘されていました。しかし、ADAの施行時期については柔軟性をもって行い、起こりうる費用負担についても慎重に配慮を加えていくということ、この法律は制定されまし

た。

2003年に出版された本「Disabled Rights(=『障害者の権利』)」の中には、中小企業の経営者連盟は、ADAの雇用における罰則規定は、負担が大きすぎると主張していると書かれています。また、他の産業組織も自分たちが負担しなければならぬ費用に関するADAの規定をできるだけ弱くしたいと考えています。このような産業界の考えと障害者の雇用に対する願いとはかみ合わない部分も多く、障害者による雇用に関する訴訟も多く起こっていますが、必ずしも障害者に有利な判決ばかりではないようです。障害者の擁護者たちは、「ADAは、障害者を失業や利用できる住宅の不足や社会的孤立から守る万能薬ではないが、その法律は長年続いた障害者差別を終えるために始まった唯一の道を開くものであり、その法律の議題とともに前進しなければならない」と論じています。

日本と同様に、アメリカの場合も障害者の自立をめざす運動は止まることなく続いているようです。

(定藤邦子)

歳時記をパラパラとめくっていると、9月の始めに「夜学」と言う季語が載っていた。そこを読むと「夜学とは、秋は学生や生徒のみならず、学問を志す者すべてが灯火の下で学ぶに適した季節をいう」となっている。

実は私は高校と大学は通信教育で学んだが、高校1年の時、許可を得て1ヵ月ほど定時制(夜間)に通ったことがある。それはちょうど2学期の始った9月だった。

定時制の高校は、昼間に働いて夜、学校へ行って学ぶために設置されたものである。そう言えば疲れた表情で教室に入ってくる生徒は少なくなかった。それでもみんなは先生のお話を真剣に聞き授業を受けていたのである。

そんなある日、私はいつもより少し早い

目に後ろの出入り口から教室に入っていると、誰もまだ来ていなかった。でも、ふと前を見ると、先生がその時間に教えること

をいっしょうけんめい黒板に書いておられたのである。たいがいの先生なら生徒が1人も居なかったら職員室へもどって行かれるのではないか。それだけにその先生の真摯なお姿に心うたれたことを今でもはっきり覚えている。それからしばらくして次から次へと生徒たちが教室に入ってきた。

冒頭にも書いたよう

に「夜学とは、学生や生徒だけでなく、学問を志す者すべてを指す」ので、私はこの「夜学」ということばを常に念頭においてがんばりたいと思っている。

## 晴れのち晴れ 96

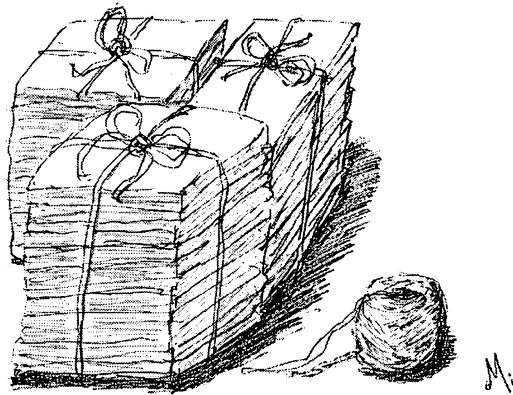
### 夜学

稲垣 恵雄



物と心

心は目に見えない。しかし、物に見える。触れることもできる。「心の整理」とはよく聞く表現だが、「心の整理」ができたかどうかは本人でも、なかなかわからないものだ。だが「物の整理」なら、すぐにわかる。部屋に入れば、雑多なものが積み上げられているのか、不要なものは捨てられてきれいに片付



いているのか、数秒もたたないうちに判別がつく。

そして、心は物と結びついていて。なぜなら、物は自分で動かない。物を動かしているのは、そこに住んでいる人であり、どう動かすかを決めているのは、その心なのだから。学生時代、心を病んだ知人の部屋を訪ねたことがある。彼は飲み物を手にする気力もなく、ほとんど脱水状態になっていた。テーブルの上に置かれたコカコーラのペットボトルには、半分だけ何かの液体が残っていて、その上の空白には小蠅（こばえ）が飛んでいた。生きる意欲をほとんど失っていた心が、そこに表れているようだった。

長い精神病院での入院生活を終えて、地域に住んでいるという人のアパートを訪問したときには、部屋のうちこちに置かれた電話機が目についた。いったい、そのうちの何台が実際に使われていたのだろう。無料の携帯電話をいくつも買っているらしかった。インターネット風の豪華な電話機もあった。電話機は、

\*好評のエッセイ\*

岡 知史著

知らされない  
愛について

700円

ほんの少しの  
神に近い部分

700円

この窓を閉め切った部屋と、外の世界をつなぐ重要な声の通路だったのかもしれない。

認知症を患う私の父の部屋には、いつも足の踏み場もないほどに書類が積み上げられている。いつごろから、この書類の山が現れたのか覚えてない。それを覚えていたら、病がいつから始まったのか、わかったのかもしれない。

書類といっても、新聞の切り抜きや雑誌、旅先で集めた神社仏閣のパンフ、会社で働いていたころのノートなど内容は雑多なものだ。病気でなくても、これらの書類を整理す

るのは容易ではないと思う。一番簡単な整理の方法は大部分を捨ててしまうことだろう。だが、それができないからこそ、こんな状態が続いている。何が大切なもので、何がそうではないのか、その判断が病気のためにできないのだと思う。

私の部屋は、父の部屋ほど散らかっているわけではない。しかしながら、決して十分に整理できているわけではない。自分の部屋を見ていると、つくづく自分の心の状態を映し出しているように思う。不要なもの、使っていないものが無造作に積み上げられていて、せつかくの空間を生かしてきれていない。果たせなかつた過去の夢を捨てきれず、いまも何をしたいのか、気持ちを絞ることもできず、未来の企図を描く余地もないのである。

物の整理は心の整理でもある。押入れの奥に眠っている不要な物を見つけ出し、身近なゴミを捨て、大切な物は順番に並べて整理し、新しく来る物のために充分な空間を作り出そう。そうすれば、つかみきれなかつた自分の心も見えてくる。未来に向かう心積もりも、こうしてできてくるのかもしれないのだ。

(知)

## 声で読書のお手伝い

### 音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第242号の音訳テープが出来ました。

#### ■音訳テープ文庫

- |  |  |
|--|--|
| <p>(a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第242号までそろっています。</p> <p>(b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」</p> <p>(c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)</p> <p>(d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)</p> <p>(e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠 1995・2・22 著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で</p> | <p>んわ音訳DJ)</p> <p>(k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)</p> <p>(l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)</p> <p>(m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)</p> <p>(u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ</p> |
|--|--|
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田 (☎06・6691・1028) まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

# 美智子のこんな話

岸田美智子

抵抗の証「私は人形じゃない」

10月からの障害者自立支援法施行で、障害者の生活は、どのように変わっていくのか、とても不安が広がっている日々です。そんな

中で、障害者の地域での自立生活運動が、今後どんな風に展開させていくか、何を目指していくか、などをもう1度、原点に戻って、考え直す時期なかもしれません。そんなときに、私は、この「私は人形じゃない」(三井絹子・著 千書房・刊 2000円・税別)という本に出会って、よかったですと思いました。

この本の著者三井絹子さんは、東京の国立市にお住まいで、私も2・3回お会いしたことがあります。三井さんは、今年、還暦を迎えられました。彼女は、今は寝たきりで、しゃべることが出来ません。わずかに動く人差し指で、指文字を書かれますが、これを、読みとるのが、ひと苦勞で非常に慣れた介助者

題に取り組んだ先駆者であり、地域で介助者が必要な、重度障害者が生きていくのはどういうことなのか、を命がけて訴えてこられた方だからです。

彼女の闘争は、「府中療育センター闘争」と呼ばれ1970年代に、東京都庁の前に1年間以上にわたって、テントをはり、座り込みを実行しました。30年近くたった今でも、こんなに長期にわたって座り込んだ障害者の運動があつたでしょうか？

彼女は、入所施設の中で、1年間以上お風呂に入らずに、異性介護の問題を訴えまじた。彼女のおかげで、他人介護料の制度や、全身性障害者介護人派遣制度の、地域での介助保障が出来てきたのです。

この本を読んでいると、障害者がいかに社会に対して声をあげていくことが大事か、ということが、実感出来ます。あらためて読んでいただきたい本だと思います。

ありがとうございました。

カンパ、お菓子・お茶・軽食・バザー用品の寄贈、また、バザー用品値段付けや販売、搬送のお手伝い、サロングッズのお買い上げなど、ありがとうございました。

カスターネット、安達尚子、阿倍野区肢体部会  
カークラブ(井上昭一・竹下秀樹・山梨徳治)、  
伊佐常和・悦子、伊勢村和子、

伊藤明弘・沖村朋子、井上礼子、大北清子、  
岡本正敏、加賀谷正、茅原聖治、桑田加代子、  
小島敬大、目和子、新垣良子、高尾澄男、

高濱吉増、豊谷浩伸、田辺徳孝、谷口はる、  
辻本輝子、富田慶子・十一、中西久雄、  
中西利香、中村宣子、大丸美智子、橋本佳昭、

原田咲子・仁、久木浩、藤井さゆり、  
松本克代、村田能子、山崎時代、山村貴司、  
山本敏子、吉岡克彦、その他の方々。(敬称略)

○

8月6日(日)の阿倍野区民祭り「あべの力  
ー二バルなんでも市」に参加しました「さろ  
ん亭」は、お陰さまで昨年を上回る売り上げ  
(107125円)がありました。この売上  
金は、今後の「サロン・あべの」の活動に有  
効に使わせていただきます。みなさま、あり  
がとうございました。





隣組ニュース

10月はどこのサロンの、どのテーマがお気に入りですか。いい出会いしませんか。

☎ 06-6757-8574

■「サロン淀川」10月の出会い

日 時：10月15日（日）午後1時30分～4時  
 内 容：心温まるヒューマンドラマ  
 「ALWAYS 三丁目の夕日」を觀賞  
 -昭和33年の日本、貧しくても夢に向か  
 かって明るく生きる人々の生活を描く。  
 日本人の心に響く映画、一緒に観ません  
 か-  
 会 費：なし  
 場 所：淀川区民センター「やすらぎ」  
 大阪市淀川区三国本町2-14-3  
 問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュ  
 ーロー）☎ 06-6394-2900  
 E-mail : sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」10月の出会い

日 時：10月28日（土）  
 内 容：未定  
 場 所：未定  
 問い合わせ先：西淀川区在宅サービスセンター  
 ☎ 06-6494-0635  
 中本 ☎ 090-9864-9678

■サロン「アイ」10月の出会い

日 時：10月14日（土）午後1時30分～4時  
 内 容：どれだけ知ってる？ 生野のこと、在日  
 のこと  
 パネラー：呉 光現（オ クァンヒョン）氏  
 聖公会センター総主事  
 会 費：なし  
 場 所：「おかちやま」2階ボランティアルーム  
 大阪市生野区勝山北3-13-20  
 問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビュ  
 ーロー）☎ 06-6712-3101  
 ○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
 出来ます。ご希望の方は、西浦まで。

■「サロン・にし」10月の出会い

日 時：10月14日（土）午後2時～4時  
 内 容：手話を学ぼう！ 応用編  
 場 所：西区在宅サービスセンター第1会議室  
 大阪市西区新町4-5-14  
 ☎ 06-6539-8075  
 会 費：なし  
 問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■《てくてく・すみよし》10月の出会い

日 時：10月8日（日）  
 集合午前10時、JR天王寺駅北口  
 内 容：天王寺動物園へ行こう！  
 会 費：300円  
 障害者手帳お持ちの方はご持参ください  
 申し込み締切り：9月30日  
 申し込み・問い合わせ先：  
 山本篤江 ☎ 06-6692-8411  
 携帯090-5168-5977

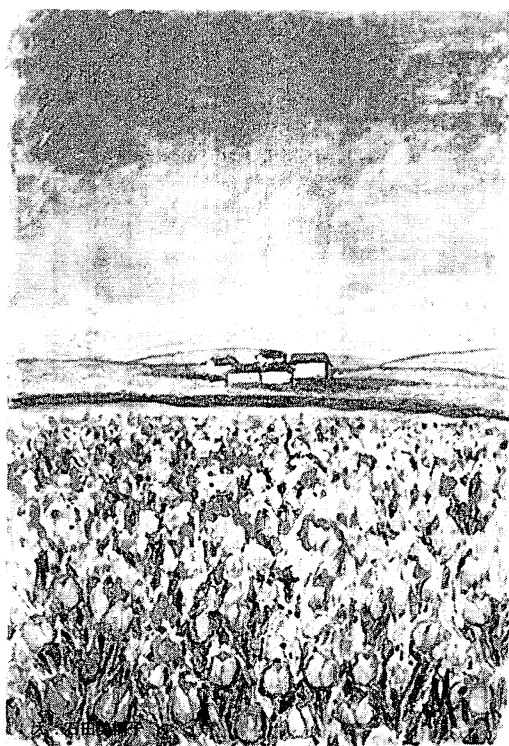
■「サロン・つるみ」10月の出会い

日 時：10月1日（日）午後1時30分～4時  
 内 容：あそびま書！-年賀状を書道でチャレンジ-  
 パネラー：向井千明さん  
 会 費：習字材料費200円  
 場 所：鶴見区民センター3階  
 大阪市鶴見区横堤5-3-15  
 問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビュー  
 ロー）奥井 ☎ 06-6913-7070

■「サロン北」10月の出会い

日 時：10月21日（土）  
 午後1時30分開場・2時開演  
 内 容：知的障害児を育て中のママが体験談を語  
 る。「何でもやってみよう」  
 演 奏：秦 眞佐美（はた まさみ）氏  
 参 加 費：無料  
 場 所：障害者福祉作業センター「たけのこ」  
 大阪市北区本庄東2-6-11宝来堂ビ  
 ル1階  
 問い合わせ先：障害者福祉作業センター  
 「たけのこ」内 ☎ 06-6372-8074

■「サロンいたみ」10月の出会いはお休みです。



## お花ばたけ

あの角を  
曲がれば  
もうすぐさ  
ちょうも舞う  
お花ばたけが  
待っている

.....

「童謡♪絵はがき」

- ・チューリップ
- ・庭の千草
- ・からたちの花
- ・この道
- ・さくら さくら

### 童謡♪絵はがき・花Ⅰ

■ 5枚1組 ¥180

#### 寄りみち



<サロン・あべの>が出来て20年になるのを記念して「童謡♪絵はがき」をシリーズで作っています。みなさんそれぞれ、使い方いろいろ、楽しんでいただいているようで・・・。「汽車ぽっぽ」のときでした、「鉄道唱歌」を66番まで全部唄う知人にこのセットを贈ったところものすごく喜ばれた、と電話をいただきました。「お正月」のときは年賀に添えてプレゼントに、とまとまった注文が。孫といっしょに唄うのに歌詞カードとして重宝している。というお便りも。 (石)

<サロン・あべの>VOL.243 発行：平成18(2006)年9月16日 定価¥100  
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>